熊本地震の時系列状況について（4月14～5月13日まで）

		被害の状況	児童の状況	食事の状況	ライフラインの状況	その他
4月14日	PM	21時26分頃、前震発生。 棚にあったものが落ち、散乱、破損多数あるものの書棚等の倒壊はなし	地震発生直後、園庭で点呼を取り、各ホームにて生活		電気、LPガス、水道使用可能	
4月15日			各ホームにて生活。地震後の後片付けをする。	非常食及び在庫食品で対応	電気、LPガス、水道使用可能	
4月16日	AM PM	1時25分頃、本震発生 書棚、キャビネ等が倒壊し事務所は手がつけられない状態、備品等の破損多数。居住棟は壁のひび割れ、ドアの破損、床のつなぎ目の浮き上がり等がある。人的被害なし。 敷地法面が崩れ、石垣が道路上に落下。南側崖からは土砂崩落が確認される。 与倉連隊長の石碑のずれを確認。	地震発生直後、園庭に児童を集める。停電のため、車のヘッドライトをつけて点呼をとる。 園内では危険と判断。避難場所である一新小学校へ全員避難する。（さざんかの児童は、そのままさざんか室内にて待機） 夕方から男児だけ本園に戻り、2号棟で生活。女児は引き続き、一新小で避難。 15時さざんかの児童、本園へ避難	昼食のみ非常食及び在庫食品で対応 夕食からは備蓄食材、入荷食材で対応	断水。電気は地震発生直後は停電したが、すぐに復旧。ガスも臭いがあったため点検してもらいすぐに使用可能。理事長宅に水を汲みに行き、調理で使用する。	夜、HPで支援要請
4月17日	AM PM		男児及びさざんか児童、2号棟で生活 避難先していた女児たちが一新小学校より、本園に戻る。夜は2号棟（男子棟）で就寝。	備蓄食材、入荷食材で対応するも野菜、魚の生鮮品は入荷せず	断水が続く。 理事長宅が断水したため、合志市の職員宅より水を運び、調理の水を賄う。 昨夜雨が降った際、貯めていた雨水や江津湖に水を汲みに行きトイレなどの水を賄う。	おむつ、菓子、ジュース、生理用品など最初の支援物資を頂く。
4月18日	AM PM		全員、本園にて生活。夜は2号棟で就寝。 中高生男児のみ城の湯へ行き入浴。	トマトの寄贈あり	断水。 愛隣園より水が届く。 救援物資として水が届き始める。	支援物資が届き始める。
4月19日	AM PM		女児、小学生男児、職員宅及び理事長宅へ行き入浴。	生魚を除き徐々に入荷するようになる。 また、生鮮品の寄贈も増える。	午前中から水が出るようになるが、水圧が低い。濁りもあるため飲用に使用できない。支援物資として水がたくさん届いたので洗濯ができるようになる。	支援物資が徐々に増えてくる。 旧職員が応援で駆けつけてくれる（～26日まで）
4月20日	AM PM		水道が復旧したため、本園で入浴する。全員、本園にて生活。夜は2号棟で就寝。	入荷も順調になり、食材洗浄用の水も確保できるようになったので食事は正常に戻る。夕食はカレーの炊き出しを頂く。	水道の水圧が復旧しライフラインは復旧する。但し、飲用は不可。	支援物資として水が大量に届く。
4月21日			全員、本園にて生活。夜は2号棟で就寝。	通常メニューを変更し対応。		
4月22日			全員、本園にて生活。夜は2号棟で就寝。	通常メニューを変更し対応。		
4月23日	PM	トンネルの上部にある園庭の一部が陥没	全員、本園にて生活。夜は2号棟で就寝。	通常メニューを変更し対応。	水が徐々に飲めるようになる。支援物資として水が大量に届く。	支援物資で生活用品は充足できるようになる
4月29日			全員、本園にて生活。夜は2号棟で就寝。	食材の納品が戻ってきたので、通常メニューにする。		
5月5日	PM		家具を突っ張り棒で耐震補強し、安全性を確認し震災前と同じように各棟での就寝に切り替え、震災前の生活に戻る。			
5月13日	PM	西部土木センターがトンネルの上部陥没箇所の修復をおこなう。				